

# Economic Indicators

発表日: 2021年8月18日(水)

## 貿易統計(2021年7月)

～輸出入ともに高い伸びが続く～

第一生命経済研究所 調査研究本部 経済調査部  
副主任エコノミスト 大柴 千智 (TEL: 03-5221-4525)

		貿易収支(億円)				輸出数量			輸入数量				
		原数値	季調値	輸出金額	輸入金額	前年比	アメリカ	EU	アジア	前年比	アメリカ	EU	アジア
				前年比	前年比		前年比	前年比	前年比		前年比	前年比	
20年	4月	▲ 9,369	▲ 10,517	▲ 21.9	▲ 7.0	▲ 21.3	▲ 36.9	▲ 27.6	▲ 11.7	1.6	4.1	▲ 0.1	6.1
	5月	▲ 8,568	▲ 8,419	▲ 28.3	▲ 25.9	▲ 27.3	▲ 49.4	▲ 34.7	▲ 11.4	▲ 14.4	▲ 22.8	▲ 25.8	▲ 8.5
	6月	▲ 2,909	▲ 5,056	▲ 26.2	▲ 14.1	▲ 27.0	▲ 46.9	▲ 33.1	▲ 17.7	▲ 0.5	▲ 12.6	▲ 6.1	0.4
	7月	▲ 148	▲ 643	▲ 19.2	▲ 22.0	▲ 22.0	▲ 21.5	▲ 36.8	▲ 11.3	▲ 13.7	▲ 27.9	▲ 12.5	▲ 10.6
	8月	2,280	2,996	▲ 14.8	▲ 20.4	▲ 14.9	▲ 20.0	▲ 27.5	▲ 7.3	▲ 11.2	▲ 22.2	▲ 15.1	▲ 7.2
	9月	6,674	5,533	▲ 4.9	▲ 17.1	▲ 7.7	▲ 6.1	▲ 23.2	▲ 3.7	▲ 8.1	▲ 16.4	▲ 3.3	▲ 7.4
	10月	8,582	5,559	▲ 0.2	▲ 13.1	▲ 1.7	0.7	▲ 10.9	2.8	▲ 5.4	▲ 21.4	▲ 8.3	▲ 2.5
	11月	3,558	6,939	▲ 4.2	▲ 11.0	▲ 4.0	▲ 2.6	▲ 9.7	▲ 4.4	▲ 2.0	▲ 19.2	▲ 12.9	4.7
	12月	7,447	7,150	2.0	▲ 11.5	▲ 0.1	▲ 3.3	▲ 18.3	5.1	▲ 1.9	▲ 22.7	▲ 0.9	2.0
21年	1月	▲ 3,272	5,582	6.4	▲ 9.5	5.4	▲ 8.7	▲ 26.1	18.4	▲ 4.1	▲ 10.5	▲ 10.8	▲ 2.9
	2月	2,117	▲ 121	▲ 4.5	11.9	▲ 4.4	▲ 16.4	▲ 23.8	▲ 0.2	21.9	▲ 7.9	1.6	43.8
	3月	6,578	3,746	16.1	5.8	12.6	3.9	▲ 6.9	20.4	3.8	▲ 0.7	9.1	8.5
	4月	2,488	967	38.0	12.9	28.5	37.8	12.7	23.0	1.2	▲ 4.8	5.7	4.5
	5月	▲ 1,934	486	49.6	28.0	38.6	77.6	38.8	21.6	6.8	5.1	23.7	7.1
	6月	3,840	▲ 627	48.6	32.7	37.3	79.7	25.8	26.1	8.2	8.9	27.3	8.7
	7月	4,410	527	37.0	28.5	25.2	19.4	39.9	20.3	2.1	2.3	0.4	4.6

(出所)財務省「貿易統計」、前年比(%)

### ○輸出入ともに高い伸びが続き、2カ月連続の黒字

財務省より発表された7月の貿易統計によると、貿易収支は4,410億円の黒字(コンセンサス: +1,773億円、レンジ: +180億円~+5,000億円)となった。輸出金額は前年比+37.0%(コンセンサス: +38.8%、レンジ: +23.2%~+50.7%)、輸入金額は同+28.5%(コンセンサス: +35.3%、レンジ: +18.8%~+40.4%)と、新型コロナウイルスの影響により急激に落ち込んだ昨年の裏が生じたことで、輸出入の伸び幅は高い水準となっている。季節調整値で見ると、輸出金額が前月比▲0.0%、輸入金額が同▲1.6%となり、貿易収支は527億円の黒字となった。

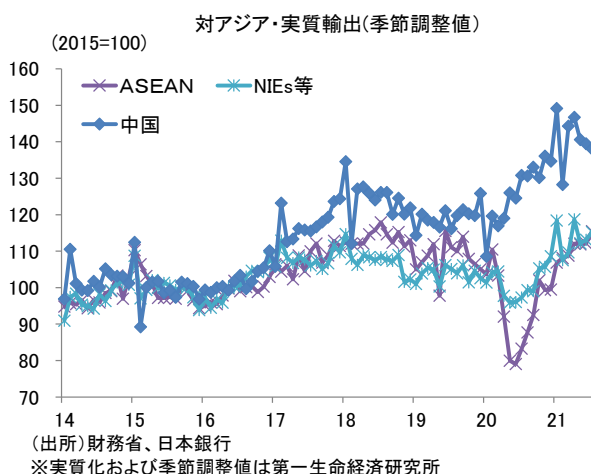
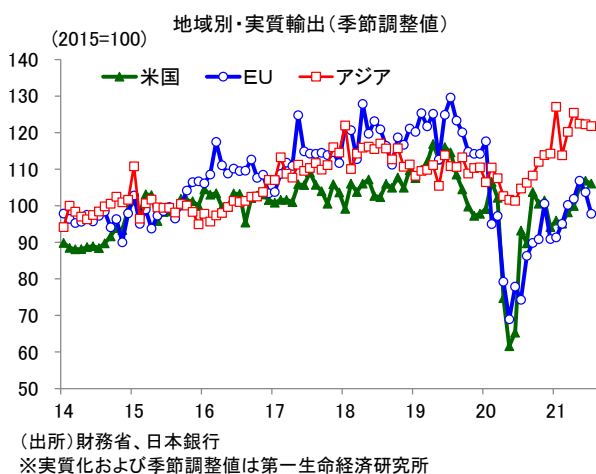
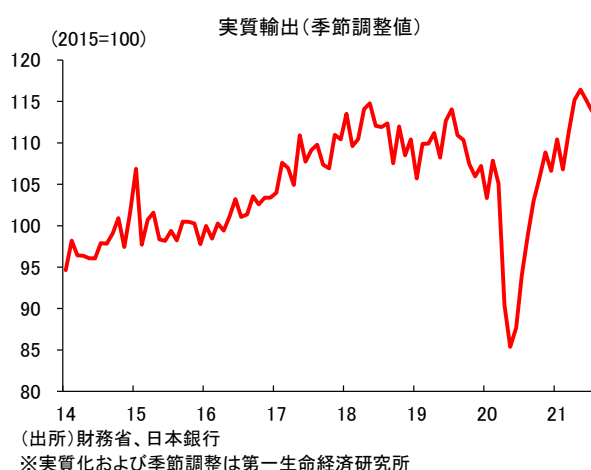
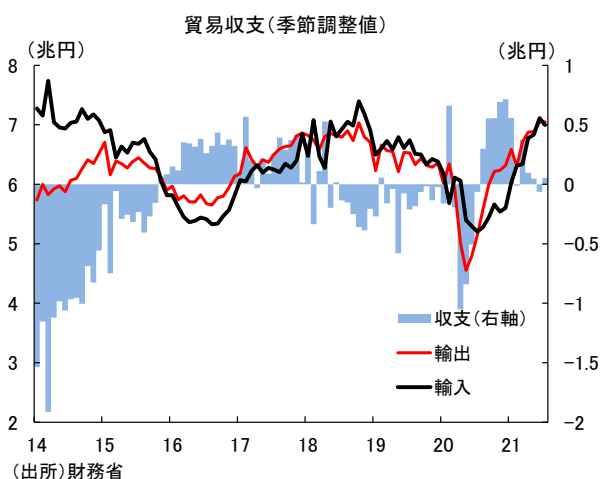
### ○実質輸出は2カ月連続の低下も、米国向けは堅調

為替などの価格変動の影響を除いた7月の実質輸出は、前月比▲1.2%(6月: 同▲1.1%、実質化・季節調整は第一生命経済研究所試算)と2カ月連続の低下となった。国、地域別にみると、米国向けが同▲0.8%、EU向けが同▲5.7%、アジア向けが同▲0.4%とそれぞれ減少した。米国向けについては、先月までの急速な回復の反動といった側面もあり、均してみれば堅調な推移といえる。輸送用機器については同+4.0%と、3カ月連続での4%台での伸びとなっており、足元で回復がみられる。これまで輸出を牽引してきた中国向けについては、電気機器が同+4.7%、輸送用機械が同+1.4%と増加した

一方で、一般機械が同▲0.9%、その他が同▲9.9%の減少となり、3か月連続の減少となった。アジア向けについては、中国を中心としたこれまでの増加の反動や、一部の国における感染再拡大を受けた需要の減少を背景に、減速感が強まっている。

## ○世界経済の回復を背景に、輸出は増加基調を維持

先行きについて、輸出は増加基調が継続するとみている。世界経済の回復を背景として、堅調な米国向け輸出を中心に好調な推移が期待される。品目別には、半導体不足の影響を受けて自動車輸出は伸び悩むとみられるものの、海外での設備投資需要の増大やIT関連需要の拡大を背景として引き続き資本財や情報関連財が牽引役となるだろう。輸出は既にコロナ前の水準を上回っていることから、今後ペースこそ鈍化する可能性が高いが、増加基調での推移は継続するだろう。輸入については、緩やかな増加基調での推移を見込む。輸入を牽引しているエネルギー関連では、既往の原油価格上昇を反映して、来月以降も高水準での推移が見込まれる。足元のドバイ価格にはやや一服感がみられるものの、今後も国際経済の回復に伴い高値での推移が続くだろう。一方で、国内における感染症拡大に歯止めがかからず、緊急事態宣言の拡大によって、来月以降の国内需要はふたたび下押し圧力を受けるものとみられる。国内需要の下押しによって、輸入の回復は力強さに欠けるとみる。当面は、輸出の伸びが輸入を上回ることにより、貿易収支は小幅の黒字での推移が続くだろう。



本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所調査研究本部経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見直しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命保険ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。